



発行所 アシュラムセンター  
523-0894 近江八幡市中村町 567-2  
Tel 0748-33-4030  
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ  
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772  
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

ユダヤ人であったエーリツヒフロムは、ナチス政権下のドイツから、アメリカの地にわたり、ファシズムに向かつていくヨーロッパを独自の視点で読み解く。「われわれはドイツにおける数百万のひとびとが、彼らの父祖たちが自由のために戦ったと同じような熱心さで自由を求めてしまったこと、自由を求めるときに、自由から逃れる道をさがしたこと、他の百万は無関心なひとびとであり、自由を、そのために戦い、そのために死ぬほどの価値あるものとは信じていなかったこと、などを認めざるをえないようになった。」全体主義の狂気は一人の扇動家や独裁者の存在によってではなく、同時代のすべての人間がこの「自由からの逃走」を試みたか

「自由からの逃走」この夏、私はドイツの心理学者エーリツヒフロムの懐かしいこの本を引っ張り出し読んでみた。先月の「ブルームハルト父子」と同じく、30年前の学生時代に読んだきりになっていたもの、ちやうど夏休みの課題図書のように読んだのだ。そして、この2冊の名著が、決して古びない、いやこの21世紀初頭の今の時代にこそふさわしい本だと確信した。

者が注目を浴び、「日本会議」なる存在が不気味な影を落とす。一体、私たちは70年前の未曾有の世界大戦をくぐり抜け、ようやく身につけてきたはずのものに、まさに「自由からの逃走」のごとくやすやすと手放してしまうのだろうか。かつてのドイツの人々のように無関心のまま、扇動家の声に流されていくのだろうか。この夏読んだ、エー

らに他ならないと彼は結論づけるのだ。さて今、この世界を覆う「ヘイトスピーチ」に代表されるような排外主義レイシズム。アメリカの大統領候補者が平気で人種差別を煽る発言をし、イギリスでは自国民優先の名の下、移民政策に反対しEUからの離脱を宣言する。私たちの国でも、選挙運動の名目で公然と民族差別を叫ぶ候補

瞑想

主の霊のおられるところに自由があります。

自由があります。

II コリント 3:17

主幹牧師 榎本 恵

リツヒフロムの言葉が私の心に深くこだましている。今回与えられたパウロの第二コリント書簡の「主の霊のおられるところに自由があります。」(IIコリント3:17)だ。パウロが、自身の伝道者としての資格問題をとり上げ、自分の推薦状はこの手紙を読むあなた方自身であり、それは「墨ではなく生ける神の霊に

告白するのだ。ここでパウロを苦しめていたもの、それはただ単に、自分が使徒として認められないことに対する悲しみではなく、コリントの教会の人々の中に満ちていた信仰の不自由さ、すなわち、「規則と戒律づくめの律法」(エフェソ2:15)から解放されたはずであるのに、再び「自由からの逃走」をしまつてはいる彼らの姿であったのではないか。パウロは、そんな彼らに向かつて、「主の方に向き直る」(3:16)こと、そして主の霊のおられるところに自由があると言うのだ。この語りかけは、決してこの時代のコリントの教会にのみ当てはまるものではない。私たちは、今、本当にこの自由を得たものとなつてはいるか。私たちは今、本当に主の方に向き直り、目の前にある恐れや不安のなかで視界不良となつて覆いを取り去つていくだろうか。友よ、エーリツヒフロムは、自由には「くからの自由」と「くへの自由」があると言ふ。その意味において、私たちは今こそ、「くからの自由」ではなく、「くへの自由」を選び取つていくものにならうよ。そう、神の霊に向かつていく自由、これこそが今、この時必要なのだ。

# 第41回 京浜アシラムに参加して

久田恵美子 アシラムに初参加し

秋の長雨がしとしと

と降る中、九月二十二

日(木)から二十四日

(土)までイエズス会

霊性センターでの京浜



霊的な労働をするこ  
と」の意味を伺  
い、神様が家族や  
教会の事に追われ  
るように過ごして  
いる私に、今必要  
なのは「霊的な労  
働」であると教え  
て下さいました。  
私は知らないうち  
に霊的に疲れ、渴  
いていたのです。  
2日目の朝目覚め  
た時、私は大勢の  
人から離れてひと  
り神様の前にいる  
自分に気付き、そ  
れはしばらく忘れ  
ていた新鮮な感動  
でした。その朝の  
早天で、村瀬俊夫

先生から「私たちは誰  
の者でもなく、ただキ  
リストの者であるこ  
と」、マルコ8章で盲  
人がぼんやり見えてき  
た状態からはっきり見  
えるようになるまでイ  
エス様に癒されたよう  
に、私も霊の目が開か  
れてはっきりと見える  
者になりたいと心から  
願われました。  
その後、静聴の時  
間、温かなファミリー  
の分かち合いと祈りを  
通して私の心は、神様  
の愛に癒されていきま  
した。特に最後の分か  
ち合いのマルコ11章  
で、「向こうの村」と  
は「ろばを二、三軒で  
共有していた貧しい  
村」であり、ろばは大  
切な農耕の家畜だった  
そうです。私たち一人  
ひとりも、持ち主の神  
様の大切な存在である  
とある姉妹が分かち  
合って下さり、イエス  
様はそんな私に「主が

お入用なのです」と  
言って下さいました。  
私は、京浜アシラム  
を終えてイエス様と共  
に霊性センターをあ  
と  
にする事ができまし  
た。心から感謝を込め  
て。  
(単立久遠  
キリスト教会)

## 「常任運営委員アシラム」に参加して

岩城 輝雄

今回のアシラム  
は、7月21日(木)の  
23日(土)の3日間の  
日程で、通常の早天祈  
禱会、月一度の聖書教  
室、定例の常任運営委  
員会が組み込まれたア  
シラムでした。ま  
た、アシラム後に新  
修道場建設計画の話し  
合いがありました。



わたしは昨年の年  
頭アシラムの中で  
常任運営委員になり  
ましたが、妻の病氣  
(乳がん)とわたしの  
病氣(硬膜下血腫)  
の為に、委員会にな  
かなか出席できませ  
んでしたが、今回は  
妻が召され、わたしの  
健康が回復しつつ  
あるので、思い切っ  
て、祈りと交わりと  
感謝を込めて参加し  
ました。

- ご献金者
- 敬称略 8月分
- 明石シオン
- 鹿屋
- キリスト教会
- 金山 良雄
- 中谷 哲造
- 斎藤 多子
- 橋本 知恵
- 伊達 子
- 熊野 江
- 小田 美津江
- 武曾 晴美
- 吉川 聡子
- 小笠原 幸一
- 村瀬 俊夫
- 西本 美恵子
- 大西 好野
- 土井 美智子
- 吉田 高明
- 吉田 恵美子
- 榎 千歳
- 越智 京子
- 上柿 久子
- 山田 孝子
- 香川 リコ
- 正岡 勇
- 村上 浦彦
- ナザレン教会
- 久一 和子
- 岩波 山田
- 小泉 登志江
- 引原 勝美
- 榎本 恵
- 榎本 康光
- 榎本 ヨコ
- マモツ
- 滝澤 和子
- 榎本 てる
- 榎本 英高
- 市川 紳司
- 沖田 朝子
- 米田 歌枝
- 米田 増枝
- 藤村 芳雄
- 今脇 万里子
- 脇 渡つぎ
- 渡ヒルマン
- 小林 恭子

ヴォーリズ建築のウオーターハウスもお借りして宿泊ファミリア会場に。



(日本キリスト教団 羽昨教会)

アシユラムは3ファミリアに分かれ静聴、恵みの分かち合い、そして寝食を共にし、また、早天祈祷会、聖書教室参加者、食事スナップの方々と交わり、祈られたことを覚え感謝しました。会場は、アシユラムセンター、アンナ折りの家、ウオーターハウス邸で、移動中ゆっくり歩いたり、車に乗せてもらったりで、楽しく過ごせました。

私も共に入院でした。妻の食事介助で時を共にし、長い間夫婦でありながら心を通じ合えなかったのに、この機会が与えられ、最後は心を通じたと思えます。天国を信じることで、葬式は全面的に教会でお世話になりました。また、入院中病室で知り合った方が洗礼を受けられたこと、多くの人に祈られ励まされたこと感謝であります。ありがとうございます。



後宮松代姉の思いをつなぎ…心づくしのお料理で遠方からの皆様をお迎える4姉妹。(引原姉は今回休み) 左から松平姉、倉田姉、足立姉。

### 待望の軽井沢アシユラムへ参加することが出来ました

足立多津子

命があった。命は人間を照らす光であった」

(ヨハネ1:4)

開会礼拝に於て、私は、自分の実相をしつかり見つめること、神の救しの希望を伝える使命が示されました。

5名のファミリアの中で70才以上が4名という中で共通の思いは終活の問題を持つているということでした。

主題聖句「言の内に

刺し通して、心の思いや考えを見分ける

実相(神のことは生きており、力を発揮し、どんな諸刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髄とを切り離すほどに

ことが出来るからです。ヘブライ人への手紙4・12) みことばはこう語る。みことばはこう語ると目をそむけない。耳をふさがない。痛みを伴う、その痛みこそ自らの姿。 主は常に私達に十字架への道、涙の道を示されている。信仰とは独り占めすると腐っていく、人に分け与えるとき綺麗になつていく。私達老人の使命、宗教教育をする恵みの時、若い人に伝える使命、私達老人のなすべきこととして示される。

軽井沢アシユラムは天国に一番近いアシユラムかな?と思える程、すばらしいところでした。

(日本キリスト教団 森小路教会)

(常任運営委員会時の料理奉仕者長)

- 前子 育世
- 順姫 明
- 井上 讚美子
- 松尾 かつ子
- 三好 萬亀
- 山本 徳文
- 山本 多賀世
- 郡山 1日
- アシユラム 黒澤源之助
- 引原 勝美
- 小林 素子
- 渡辺 美寿子
- 喜多川 啓子
- 加々美 要
- 李 非玲
- 吉田 すみえ
- 古田 光子
- 鹿屋 キリスト教会
- 沖田 和忠
- 石井 美雪
- 堺 大派
- キリスト教会 和子
- 宇都 67口

- 義 援 金
- 土屋 翠子
- ちいろば
- アッちゃん・シユラム君
- 高山美津江
- ちいろば
- タオル
- 4口
- ¥19,000
- 礼拝堂改築
- 銀田 速明
- 1口
- ¥5,000
- 合計
- 72口
- ¥656,825
- 感謝いたします

## 平安の内に

去る7月5日、娘たちと徳島へ一泊二日の楽しい旅行をして帰った途端、激しい嘔吐と腹痛に襲われ、耐え切れずH医院に駆け込み診察を受けた結果、胆のう炎の疑いがあるので直ぐに救急病院へ行くようにと指示されました。若い頃何回かレントゲンを受け、その度に医師から「あなたの胆のうには胆石が溜まっているよ」と言われていましたが、別に気にもしないで過ごしてきましたが、その胆石が原因でした。胆管に三個、胆のうに直径4センチと2センチの石があり、まず胆のうにカテーテルを入れ細菌の混じった胆汁を取り、その後内視鏡により胆管内の石を砕き、最後に腹腔鏡で胆のうを全摘出致しました。その間、初体験の内視鏡に苦しみ、やっと回復したと思ったとたん、まだ石が残っているとのことで再びあの苦しい内視鏡手術をすることになりました。発熱のため施術が一週間延びたりいろいろなことが起こりました。胆のう全摘出手術を前に91才を迎えようとする老婆の私は、必死に全能の主の助けを求め祈りました。そして医師を信頼して全てを主にゆだねた手術は無事終わりました。9月7日に

は晴れて47日間の入院生活を終えることができました。

このことは主が私の祈りに応えてくださり終始平安の中においてくださったからだ心の底から神様に感謝しました。そして、アシュラムの友、教会の友、家族の深い祈りと支えがあったことをひしひしと感じ心から感謝しています。今は残る生涯が僅かでも主の御用の一端に加えていただけたらと思う日々です。

神様ありがとうございます。みなさまありがとうございます。優しく温かかった医師の皆さま、看護師の皆さまありがとうございます。

主が皆さまを豊かに守り、祝福してくださるようにお祈りいたします。

榎本和子



退院後、初夕礼拝にて。  
だいぶホッソリ、スッキリされ、皆、思わずうっとり…。

台風10号後、角谷師よりお電話を頂きました。ご関係の教会員の方が被災されたので、助けて下さい、とのことでした。

早速、アシュラムの皆様がお献げ下さっていた、ご献金、義援金から今回5万円をお送りいたしました。このようなことがすぐにできましたのも、いつもいつも皆様祈りにつながり、主の御用にとお献げ続け下さっているから…と、センター一同感謝あふれるばかりです。この度、角谷師よりお礼文が届きましたので、ご紹介させていただきます。

引き続き、アシュラムの皆様からの祈りをお願いいたします。

## アシュラムの皆様へ お見舞 お礼申し上げます

主の御名を讃美致します。

いつも大変お世話になっておりました深くお礼を申し上げます。今年の台風は日本の各地に大変大きな被害をもたらしております。

私どもの区域でも久慈に大きな被害をもたらしました。今日お手紙と、お見舞救援金を賜りまして、深くお礼申し上げます。災害復興活動のために用いさせていただきます。まことにありが

とうございました。アシュラムセンター、またアシュラムの方々の上に、主のお守りとご平安をお祈り致します。

お礼のみにて失礼致します。ありがとうございました。

2016年9月23日(金)

岩手県山形村チャペル牧師 角谷晋次 拝  
(秋田・盛岡アシュラム、  
第12回 国際正義・平和アシュラム  
実行委員長)



## クリスマス献金のお願い

イエスは主なり

今年もまた、クリスマス献金のお願いをいたします。皆様方の祈りとお支えによって、この1年間も無事アシュラムセンターの運営を行うことができました。本当に感謝いたします。私たちのグループは、会員制ではありませんので、皆様方の自由献金で運営されています。ですから、毎年この時期になりますと、なんと神様は、不思議な御手を持って私たちを導き給うたか知ることになるのです。本来なら予算など立てることもできないものですが、年度末、全ての業を終えて、見てみるとその壺の粉は尽きず、油も残るということが、この42年になるセンターの運営の事実です。ハレルヤ！

しかしそれは、神がお一人お一人の心のうちを動かし、その尊い献金をお献げくださったものであることを忘れることはできません。この献げられたものを主のご用のため大切に、また有効に使っていくことこそ、私たちアシュラムセンターに課せられた使命であると思っております。どうか、これからもセンターの働きを覚え、祈り、支えてください。

さて、来年2017年は、私たちアシュラムセンター創設者の榎本保郎牧師召天40年の年です。4月には、ロスアンゼルスで記念アシュラムと「ちいろば牧師を偲ぶ会」が、また9月には神戸で開かれる「第14回国際正義平和アシュラム」の中で記念集会が計画されています。40年の時を経てもお、多くの人々により影響を与え、また信仰の指針となっている榎本保郎牧師が、その最後まで守り続けたアシュラム運動を次の世代に引き継ぎ、伝えていく大事な時であると考え、センターでは、この記念の年に前述の集会以外にもさまざまな計画をしています。どうか、このことのために、皆様方の思いを合わせていただけたら幸いです。

次に、今年4月に熊本での地震がありました。

アシュラムセンターでは、その支援として皆様方より献金をいただき、熊本アシュラムの友、竹内一臣兄を通して、現地の復興支援をさせていただいております。その報告は、次回のアシュラム誌の中でもされますが、5年前の東日本大震災の時も岩手県野田村の支援を、盛岡アシュラムの角谷晋次牧師を通じさせていただいております。また、盛岡では、今年台風被害も起こり、本当に神様は何を私たちに示そうとされておられるのか、そんな思いをしておりました。そのような中で、創世記のファラオの夢を解くヨセフの言葉が心に浮かびました。今、この国に起こっている様々な危機は、決して他人事ではありません。いつ自分たちの身に起こってもおかしくないこと、まさか自分の身に起こるはずがないことが実際には起こっているのです。そのことが、起こってから動き始めるのではなく、今、できる間に私たちは、ヨセフがそうしたように集め蓄え、そして何かの時にすぐに役立つものとしなければならない。私は最近、真剣にそう考えています。そこで「ヨセフ基金」(仮称)と名付けた基金を積み上げ、備えていこうと思っています。このことについても、ぜひ皆様方のご協力をお願いいたします。

以上、大変長くなりましたが、引き続きアシュラムセンターのビジョンである「新修道場計画」のためにも献金をお願いいたします。

皆様方の祈りとお支えをアシュラムセンターへお献げくださいますようお願い申し上げます。

- 1) 2017年度センター運営のために
- 2) 榎本保郎牧師召天40周年記念事業のために
- 3) 緊急支援の備え「ヨセフ基金」のために
- 4) 「新修道場計画」のために

アシュラムセンター主幹牧師 榎本恵  
アシュラムセンター常任運営委員一同



(恵)

10月11日の日に、熊本を訪問した。益城町や熊本城、地震の爪痕は、半年経つ今も変わらず残っている。熊本アシュラムの竹内一臣兄に、こち案内していただいた。西原村で活動する「瓦礫に一輪の花プロジェクト」にアシュラムセンターからの義援金で、スコップやくわ、プランターを寄付できた。これから2年間の計画で、ルーテル学院高校とともに支援を行なっていく。私たちの力は小さく乏しいが、かならずそれを主が用いてくださることを信じている。2011年の東日本大震災で、原発から避難してきていた齋藤宇多子姉が、ケアハウス「ピスガ甲西」に入居されることになった。皆様のご支援により5年半の間センターで暮らされた。感謝である。これからは主が導いてくださるように。

あとがき

11月のアシュラムなど		
1(火) 2(水)	第37回 札幌アシュラム (札幌サンプラザ) 奉仕者 榎本恵師	011-561-7951 吉田すみよ姉
10(木) 12(土)	第40回 阪神アシュラム (母の家ベテル) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
14(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30) 奉仕者 榎本恵師	092-607-8251 樋口栄子姉
15(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
16(水)	カフェちいろば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30) 奉仕者 榎本恵師	075-643-2476 みんなのカフェちいろば
17(木)	常任運営委員会 (アシュラムセンター)	0748-33-4030 アシュラムセンター
18(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
20(日)	ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝・愛餐会 (PM5:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
22(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター4F AM10:30) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
22(火)	桜美林リトリートアシュラム (桜美林大学 PM2:30) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
28(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 PM2:00) 奉仕者 榎本恵師	0748-33-4030 アシュラムセンター
30(水)	第6回 合同平和祈禱会 (神戸・イエス団教会 PM4:30~6:00) 奉仕者 三宅のぶ子(トナー師(在ハワイ)恵師の友)	0748-33-4030 アシュラムセンター

2017年のアシュラム予定 (榎本保郎牧師召天40周年記念の年です)	
第42回 年頭アシュラム	
日時	1月26~28日(木~土)
場所	関西セミナーハウス
奉仕	榎本恵師
申し込み	アシュラムセンター 0748-33-4030
ブラジルアシュラム	
日時	3月26~28日(日~火)
□サンゼルスアシュラム 榎本保郎牧師を偲ぶ会、コンサート	
日時	4月1~4日(土~火)
	4月1日:一日アシュラム、2日:偲ぶ会、3~4日:一泊アシュラム
	日本、世界各国からの参加者もお待ちしています。現地集合。
問い合わせ	アシュラムセンター 0748-33-4030
たびんちゅ牧師と行く 沖縄巡礼の旅・沖縄聖書教室	
日時	慰霊の日 6月23日前後
第14回 国際正義・平和アシュラムin神戸 ♪沢知恵さんコンサート♪	
日時	9月25~27日(月~水)

2017年「日々の聖句」御注文の方、  
11月25日迄にご連絡下さい。  
1冊 1,296円(税込) 10冊以上 2割引+送料  
FAX・TEL 0748-33-4030 榎本和子 91才



## みことば

岡山聖書集会(無教会)  
香西 信

### 「ことばの意味を開く(8)」

世の中には、知恵、知識、教養、学術などに優れている人がいます。自信を持って生きており、しばしば社会的にも高い地位につき、文化的にも、精神的にも豊かな生活を送っています。このような人々は必ずしも神さまを必要としていません。

これらの人々と対照的な姿があります。自分には誇るべきものは何一つない、本当に取るに足らない人間であると深いため息をつく。おそらく現在にも将来にも希望が見出せず、その日暮らしをしている、貧しい人々とはそんな人々のことでしょう。

使徒パウロはこのような人々のことを「弱い人」と言いました。また、イエスさまが言う「小さな者」とはおそらくこのような心を持つ人々のことです。

知恵ある者、自分に自信がある人々は、神さまがいなくても、自分の知恵、能力、技能を頼りにして生きていくことができます。けれども、貧しい人々は、自分に誇るべきものが何もないわけですから、ただイエスさまにすがり、お任せするしかありません。必要なものは、必要な時にイエスさまが必ず与えてくださる。必ず良くしてくださる。そう信じることによって霊の糧を与えられて生きている。本当に幸いなのはこのような人々である。これが聖書の語る真理です。

ある無教会の伝道者は「キリストなしでは、自分では何一つできないと自覚しているのが、本当のクリスチャンだ。」と言われました。イエスさまはこのような人々を招いておられます。この意味において、イエスさまは私たちのまことの友、兄弟なのです。

私たちは、信仰が生活の付け足しになっていないか、常に注意する必要があります。生活が順風満帆な時には、つい感謝、祈りを怠りがちになります。そのような時こそ、自覚的に朝の祈りにおいて心を静め、聖書にみ言葉を聴き、悔い改めることが大切であると思います。